

編集後記

巻頭論文執筆の田中岬は、古くて新しい人です。田中は22年前、北海道教育大学大学院に在学していました。そして私（鹿内）の授業を受講していました。その授業のテーマが「看图作文」でした。大学院授業の成果として、看图作文に関する論文を私との共著で発表までしています。田中は、看图作文・看图アプローチ研究のパイオニアのひとりなのですが、以後22年間、看图の世界から遠ざかっていた。その田中が22年ぶりに戻ってきてくれました。しかも、アイデアあふれる看图アプローチ実践を立て続けにしてくれています。今号論文は、帰ってきた田中の看图アプローチ実践第1報です。

「全国看图アプローチ研究会」に、またひとり優れた実践家が加わりました。今号第2論文執筆の村山信子です。今回は、同僚の久保田睦子との共著になっています。本研究会には、たくさんのアイデアウーマン・アイデアマンがそろっています。村山もそのひとりです。村山は看图アプローチの諸文献を確実に咀嚼理解しています。そして、理解したことを応用・発展させていく力をもっています。村山と直接話していると、こちよいいパワーが伝わってきます。アイデアもどんどん広がっています。これからたくさんの実践論文が生まれてくると思います。今号掲載論文も「現場に届けたい」内容になっています。

第3論文執筆は森寛です。今回は、前号に引き続いての執筆になります。森は看图作文研究にはなくてはならない人です。今号では、豊富な看图作文実践に支えられた「看图作文授業入門」をまとめてくれました。森は、いつも完成度の高い論文を投稿してくれます。今回は、論文受付→編集委員会による閲読→論文受理→組版→校正、の作業がわずか1日で完了してしまいました。それくらい完成度が高い論文です。ぜひ一読してみてください。

また、スピード感をもって論文のDTPをしてくれる本誌編集長の石田ゆきにも多謝です。

文責 鹿内信善

—— 全国看図アプローチ研究会研究誌 14 号 ——

発行年月日 2022年8月29日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員

石田 ゆき

伊藤 公紀

鹿内 信善*

山下雅佳実

渡辺 聡

(*印は編集代表)

発 行 全国看図アプローチ研究会

kanzu-approach.com



事務局 長 山下雅佳実 (中村学園大学短期大学部)

編集長・DTP 石田ゆき